

村上市上下水道事業審議会 議事録（要約版）

会議名	第3期 第4回村上市上下水道事業審議会
年月日	令和6年2月9日（金） 13:30～15:15
会場	村上市役所神林支所 3階 大会議室
出席委員	大串葉子、鷺見英司、加藤明、梅田久子、遠藤誠作、酒井航、瀬賀秀雄【委員7名】
欠席委員	山貝 有紀子【委員1名】
事務局	<p>上下水道課 課長 稲垣秀和</p> <p>経営企画室 室長 林奈美、副参事 本間かおり</p> <p>副参事 石井美勝、主査 織田美幸</p> <p>業務室 室長 東敏之、課長補佐 長谷部淳、副参事 大矢純</p> <p>副参事 渡邊智雄</p> <p>工事管理室 室長 渡邊貴志、副参事 伊與部貞幸、係長 伊藤勝志、 係長 小田和彦</p> <p>【事務局13人】</p>
傍聴者	なし
次第	<p>1 開会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>（1）村上市上下水道事業経営戦略について</p> <p>① 村上市水道事業の投資財源見通し</p> <p>② 村上市下水道事業の投資財源見通し</p> <p>（2）「村上市公営企業の健全な事業運営の在り方」における答申案について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>＜本日の審議会の成立について＞</p> <p>委員総数8名のところ、7名の出席により村上市上下水道事業審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立することを報告する。</p> <p><b>2 市長挨拶</b></p> <p><b>3 議事</b></p> <p>（1）村上市上下水道事業経営戦略について</p> <p>＜「上水道事業の投資財源見通し」、「簡易水道事業の投資財源見通し」</p>

	説明…資料 1-1・1-2 >
委員	水道事業の有収水量の算定はどのように行ったのか。
事務局	アセットマネジメント計画において「国立社会保障・人口問題研究所」の将来推計人口データを基に算定している。人口減少により有収水量も減少で推移していく。
会長	料金改定の資料では人口の推移等も分かる資料も必要である。 シミュレーション結果には算定の際に使用したバックデータを明示してほしい。
事務局	<「下水道事業の投資財源見通し」説明…資料 2 >
委員	下水道料金はどこまで料金で賄えるのか。維持管理費には雨水分もあるためどのように考えるのか。料金のバランスや料金回収率についてはどうか。
事務局	雨水分は公費負担として基準内繰入金として一般会計から受け入れる。資料の維持管理費には、汚水分のほか雨水分も含まれる。
会長	支払利息の率はどれくらいか。
事務局	新債分については、下水道事業は 1.7%で算定している。
委員	維持管理経費の考え方はどのようになっているのか。建設改良費の運営経費は入っていないのか。
事務局	維持管理経費については 3 条経費のみである。パターン 2 は、損益上における維持管理経費のみを料金で回収する場合の算定である。
委員	会長より許可を得て、資料を配布し、館山市を例に下水道事業の財政構造について紹介。 下水道事業については、新規工事には国補助金があるが、財務省は更新は使用料で賄うべきと考えているようだ。設置から 50 年後の更新工事には費用は 2 倍以上かかる。人口減で利用者の増加も見込めず、使用料では賄えない状況となる。資産を保有すると経費がかかる。下水道事業は時期を逃さず、進行中の下水道整備を凍結し、供用済みの下水道は使用料を改定し、財政基盤を強化していく方向へ転換することが望ましい。危機感、スピード感をもってやるべきで、集合処理施設は個別処理への転換

	に舵をきるべきだ。
会 長	市民の生活レベルは落とさない。答申案の中に組み入れる。 次回からもっと具体的なシミュレーションを進めてもらいたい。
事務局	(2)「村上市公営企業の健全な事業運営の在り方」における答申案について 説明…資料3
会 長	低額料金の維持から方向転換することを市民へ具体的に説明することが大切である。努力ではどうにもならない。市民への講演会やワークショップ等市民と語り合う場を設け、勉強会を通して住民の理解を高めてもらう必要がある。もっと市民を巻き込んでほしい。
委 員	方針転換を行うのであれば、下水道は集合処理方式なので人口集積がある都市部の汚水処理装置である。人口減少が進む中山間地域では効率が悪く維持できない。小さな下水道は更新しないでなくす。 維持管理費の抑制は、もう限界があり、努力ではどうにもならない。
会 長	答申書について、次のようにしてもらいたい。 答申書に4がないので、「(仮称) 4. 上水道は守りぬく(更新時には)下水は縮小方向」の項目を追加する。 3経営改善施策(2)施設の在り方についての末尾に次のことを追記してほしい。 (追記)なお、小規模下水道については市民に更新しないことを示す。 5参考資料の下水道事業 汚水処理原価は資本費を含む原価を入れる。円単位をそろえると視覚的に分かりやすくなる。
委 員	答申には「下水道施設の改築更新の凍結」の文言を入れるべき。これまで更新については、やわらかく表現してきた。これでは何とかしたい気持ちが伝わらない。 震災等の災害や財政を考えると、水道と下水道、どちらも現在のまま残すのは難しい。効率の悪い小さな下水道はなくし、浄化槽へ転換していかないと持続可能な運営はできない。使用料を上げてコストを回収しようとしても、合併浄化槽の利用者負担額を超える金額は徴収できない。地区での集合処理施設は更新しないで浄化槽に転換するしかない。
委 員	現在の状況を市民はほとんど知らない。どう伝えるべきか。方向性は間違っていない。令和6年度から8年度までの3年間の上下水道の捉え方、何が大事なのか。意思

	<p>統一をしっかりとし、市民へ伝えていく必要がある。</p> <p>月1回、市報やかかわら版等で下水道についての特集を入れ、市民へ情報を分かりやすく伝えていってはどうか。数字だけではなくイラスト等分かりやすい表現の仕方を工夫してほしい。市内の業者さんからスポンサーを募って発行してはどうか。</p> <p>市議会や常任委員会においても現状を説明し、情報を開示すべきである。提言書も公表されているのか。令和5年2月に出された提言書の内容できちりと伝わっているようだ。とても良くできている。提言内容をシビアに最後は最終決断してほしい。</p> <p><b>委員</b></p> <p>以前から言っているが、現状が市民に伝わっていない。市報の内容では伝わらない。市民目線でイラスト等を入れてもっと分かりやすく伝えてほしい。また、講師を招いて市民講座を開催してはどうか。1人でも多くの方に現状を知ってもらうことが大事である。市民目線で計画をしてほしい。</p> <p><b>会長</b></p> <p>答申案では、ここにいる委員のみなさんが考えている危機感が伝わっていない。実際のところ実行性に欠ける。料金を10倍にできるかというできない。更新しないワードは入れるべきか。また、地域の人口減少により、今後ますます経営が困難な状況に陥る。財政事情を尊重しなければならない。しっかりとした投資計画により、更新時適宜判断を行い、投資を抑制しながら舵を取ることが望ましい。上水道中心に守り抜く、下水道はリーズナブルな体制が望ましい。代替案等具体的に示して協議することが必要であり、最後警告である。</p> <p>答申案については早めに出来上がるよう委員の皆様にご協力いただきたい。</p> <p><b>市長</b></p> <p>当市では、水道事業会計・下水道事業会計において、予算が組めているし、決算ができていないため、市が破たんするという報告はしていない。最後の警告として3年間で公営企業の経営を立て直すための仕組作りをしていきたい。</p> <p><b>事務局</b></p> <p>答申案における修正等については、メールにより依頼するのでお願いしたい。</p> <p><b>副会長</b></p> <p>料金回収ができていない。料金改定に向けてご協力をお願いしたい。実態に伴った長期的なビジョンが必要である。</p> <p><b>4 その他</b>  &lt;事務局から委員の報酬及び旅費について説明&gt;</p> <p><b>5 閉会</b></p>
--	--